

株式会社テクノマセマティカル

2025年3月期<第25期>

決算説明会

資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2025年5月

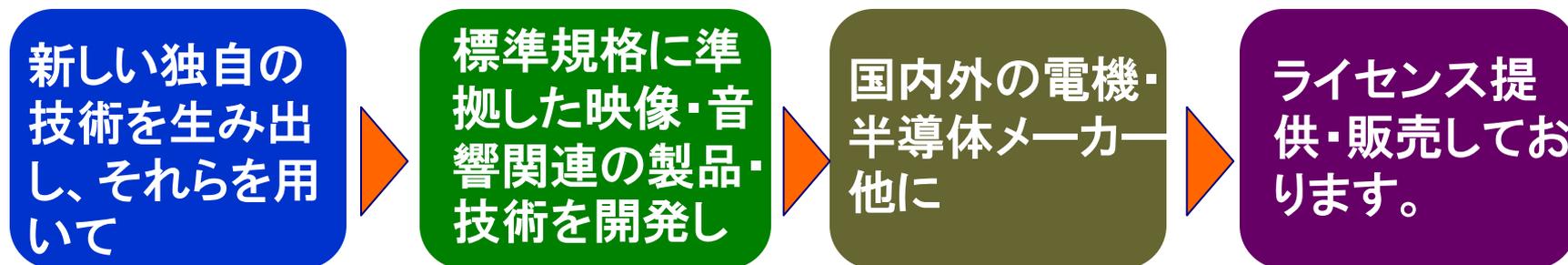
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. 来期(2026/3期)について
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ① 高圧縮率
- ② 高画質
- ③ 低消費電力
- ④ 低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発”をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノマセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

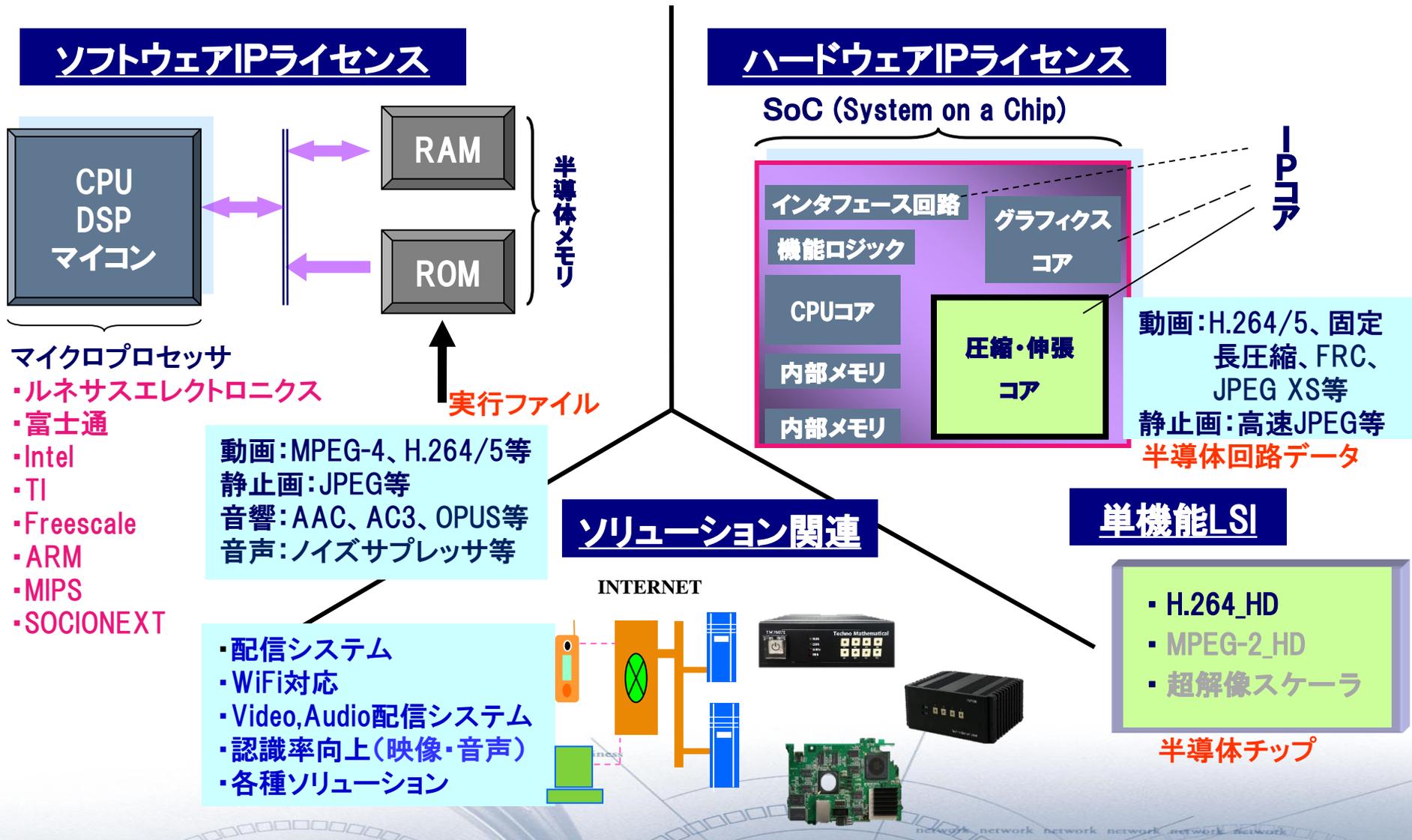
ソフトウェアIP

ハードウェアIP

ソリューション事業

システム開発/ホード/装置物

1-3 製品形態



1-4-1 音源分離技術

【音源分離技術とは】

- ・様々な音が混ざりあった状態からひとつひとつの音源を推定・分離することができる技術です。
- ・音声と雑音、複数話者、多重奏の楽器などを分離することが可能です。
- ・事前学習不要でマイクの本数分の音源のリアルタイム分離が可能です。



【特長・利用イメージ】

- ・ズームボイスは特定方向からの音を強調するものですが、音源分離は音源の位置・方向を問いません。
- ・このため、例えば一般的な生活環境音の中で使用するスマート家電の場合、ズームボイスでは話者の発話内容を捉えるには発話位置・方向に一定の制約が生じますが、音源分離では発話位置・方向の制約なく発話内容を捉えることが可能です。

【ノイズ環境下での音声認識評価】（参考値）

音声認識ソフトウェア	認識率	
	音源分離不使用	音源分離使用
A社製	1.5%	92.6%
B社製	8.9%	98.5%

1-4-2 暗号化技術

「JPEG画像のクラウド上での安全な保管」を実現

【概要】

近年、JPEG画像の保管手段として、クラウドストレージの利用が非常に増えています。個人情報やビジネスで扱う重要な画像データを安全に保管することは、現代のセキュリティ対策に欠かせません。本暗号化技術は、機密性の高いJPEG画像データのJPEGビットストリームレベルの知覚暗号化で、個人、時間や場所の特定等に繋がる視覚情報を保護します。**共通鍵暗号方式で、鍵を持ち閲覧権限を有する人だけが元の画像を見ることができます。**

【特長】

- 暗号化後もJPEGファイルの構造が維持されるため、ダウンロードして復号化することなく、クラウド上で画像として閲覧することができます。
- 暗号化の領域指定は、全領域指定、ライン指定、矩形指定の3通りがあります。データの概要を部分的に暗号化（半開示）することで、情報の検索性が向上し、効率的なデータ管理が可能になります。
- 他の暗号化と併用可能なため、セキュリティ強化を実現することができます。

【使用例】

1. クラウドへの画像保管時のプライバシー保護

クラウドにJPEG画像（社員の健診結果、履歴書、人事考課表etc.）を保管する際、プライバシー保護が重要です。万が一、ハッキングやクラウドサービスプロバイダーの**操作ミスや過失によってJPEG画像が漏洩しても、視覚的に認識困難な画像となりますので、個人情報や機密情報の安全な保管が担保**されます。

2. スキャナーで取り込んだPDFやデジタル文書に張り付けたJPEG画像の黒消しの代用として

本暗号化技術は、一般的なPDFやWord編集ソフトによる復元不可能の黒消し機能に代わる手段としても利用可能です。**黒消し前の原本を別途保管しておく必要がなく、貼り付けたJPEG画像の一部を簡単かつ安全に秘匿**できるため、**効率的かつ信頼性の高い情報管理を実現**します。

1-5 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品
「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造
ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能
国際標準規格準拠、日本発の映像 / 音響 / 音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上
既存 / 新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

(単位:百万円、%)

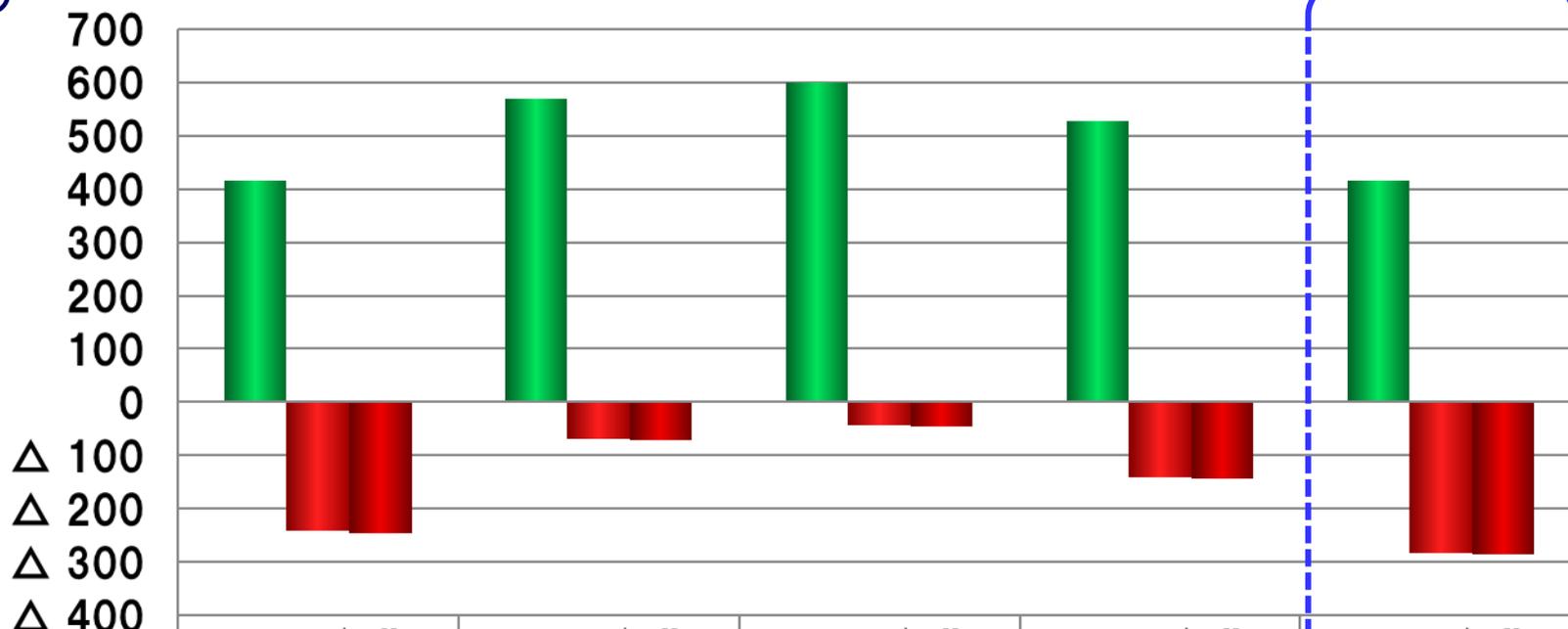
	2023/3期			2024/3期			2025/3期		
	金額	構成比	前期比増減額	金額	構成比	前期比増減額	金額	構成比	前期比増減額
売上高	599	100.0	30	527	100.0	△ 71	416	100.0	△ 111
売上総利益	559	93.3	9	491	93.2	△ 67	376	90.5	△ 114
販売管理費	612	102.2	△ 11	648	123.0	36	663	159.3	14
営業利益	△ 53	△ 8.9	20	△ 157	△ 29.8	△ 103	△ 286	△ 68.8	△ 129
経常利益	△ 43	△ 7.2	24	△ 141	△ 26.8	△ 98	△ 282	△ 67.7	△ 140
当期純利益	△ 46	△ 7.7	24	△ 144	△ 27.4	△ 98	△ 285	△ 68.4	△ 140

2-2 業績の推移

2025/3期
要 因

- ◆ 売上高 4Qに見込んでいたハードウェア部門の大型案件が顧客開発計画延期や失注(計218百万円減)で計画値大幅未達
- ◆ 損 益 売上高の計画未達の影響により損益はマイナス継続

(百万円)



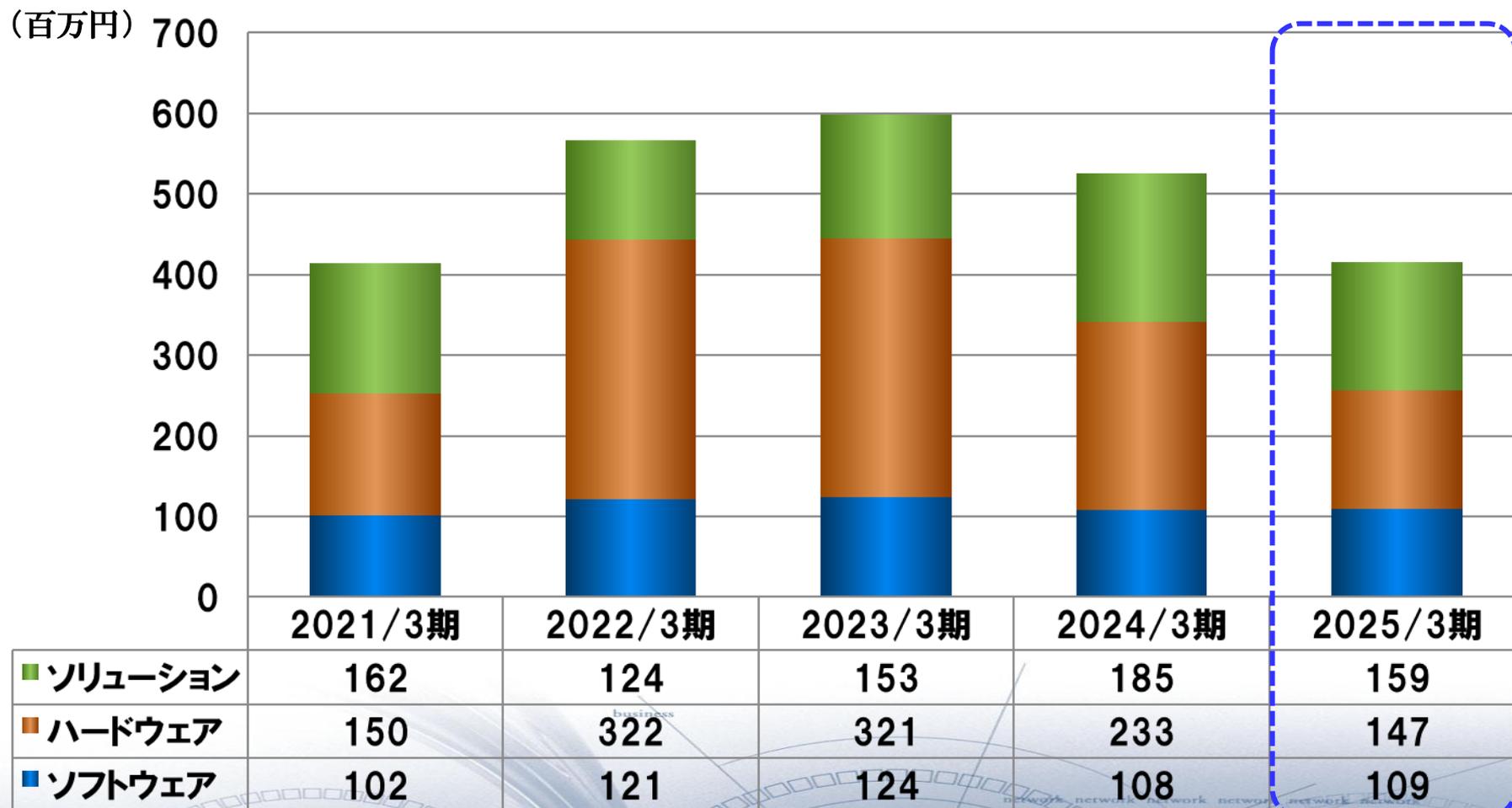
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
■ 売上高	416	569	599	527	416
■ 経常利益	Δ 242	Δ 68	Δ 43	Δ 141	Δ 282
■ 当期純利益	Δ 245	Δ 70	Δ 46	Δ 144	Δ 285

3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

◆IP事業は前期比24.8%の大幅減少・・・ソフトウェアは1.2%増、ハードウェアが36.9%減

2025/3期

◆ソリューション事業は前期比14.2%減と落ち込み・・・開発案件堅調ながら機器販売大幅不振

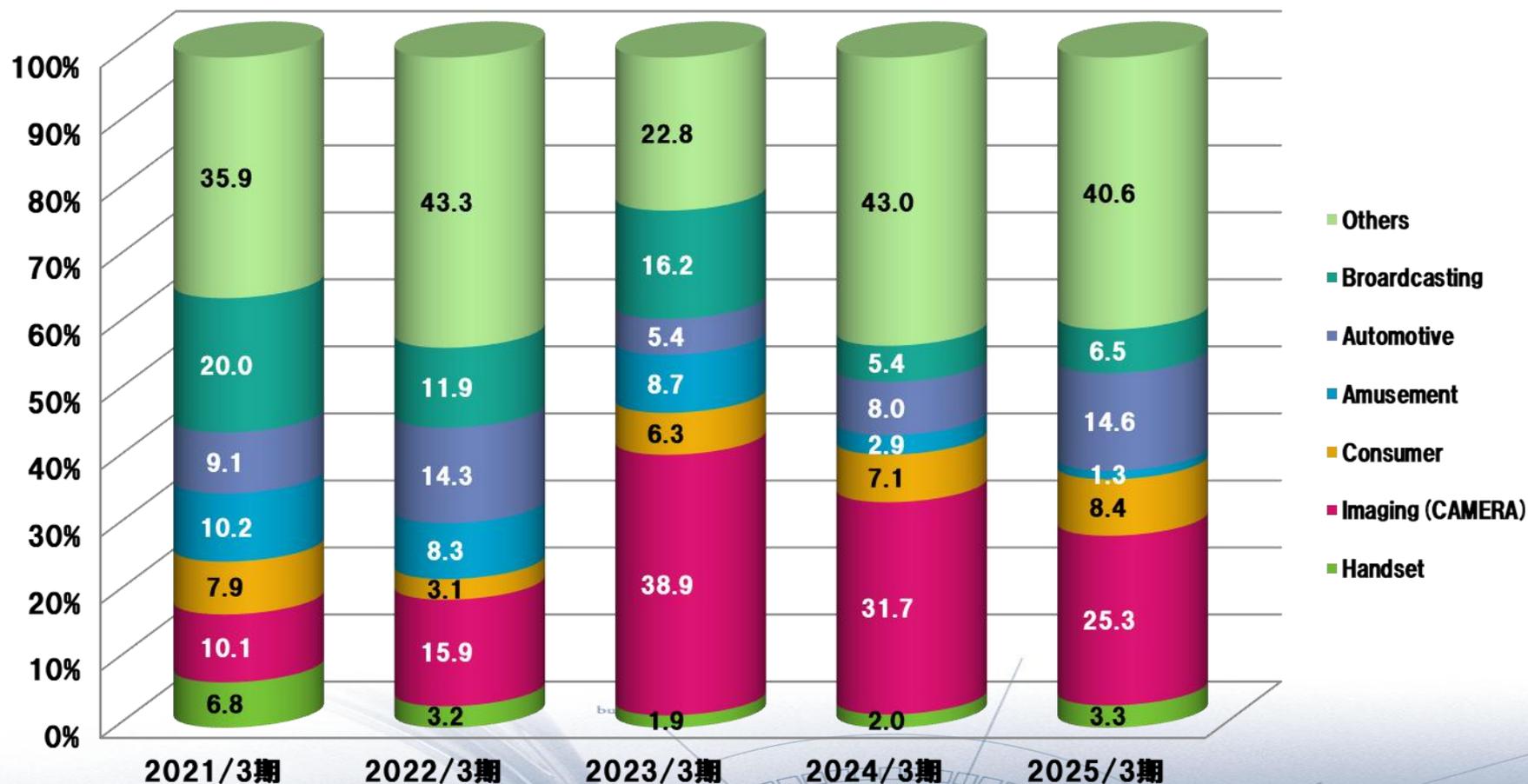


3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

◆デジカメ関連は、各種開発サポート案件獲得によりImagingの比率は高水準維持

◆車載関連は、大型ライセンス契約、各種開発案件獲得でAutomotiveの比率拡大

2025/3期



4-1 貸借対照表推移

(単位:百万円)	2023/3期末	2024/3期末	2025/3期末	構成比	対前期末比 増減
流動資産	1,458	1,329	1,013	55.0%	△ 316
固定資産	840	857	830	45.0%	△ 27
資産合計	2,299	2,187	1,843	100.0%	△ 343
流動負債	92	110	81	4.4%	△ 29
固定負債	2	6	—	—	△ 6
純資産	2,204	2,070	1,762	95.6%	△ 307

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期	対前期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	70	△ 272	△ 202	70
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3	△ 1	0	2
財務活動による キャッシュ・フロー	—	—	—	—
現金及び現金同等物 の増減額	△ 77	△ 265	△ 208	57
現金及び現金同等物 の期首残高	1,033	1,111	845	△ 265
現金及び現金同等物 の期末残高	1,111	845	637	△ 208

5-1 2026/3期業績見通し

(単位:百万円)

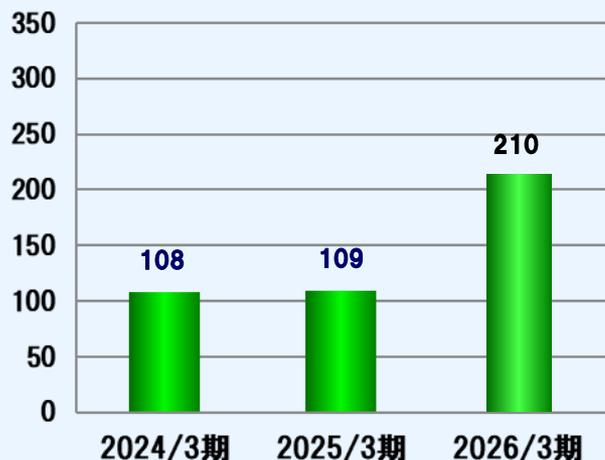
	予 想	増減	増減率	2025/3期実績
売 上 高	710	293	70.4%	416
経 常 利 益	4	286	—	△ 282
当 期 純 利 益	1	286	—	△ 285

- ◆ ソフトウェアライセンス=車載機器、音声・画像認識、携帯端末、配信システム向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス=デジカメ、放送・画像伝送機器、表示装置向け中心にH.265、H.264/5マルチ、固定長、JPEG XS、H.266見込む
- ◆ ソリューション=各種装置物拡販、車載関連、防衛関連やその他各種システム/カスタム案件も見込む

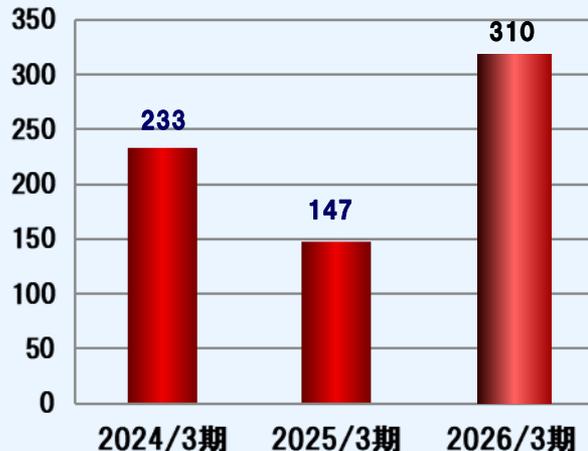
5-2 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、2024/3期、2025/3期は実績、2026/3期は予想）

ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



予想基礎

- ・オーディオ、ボイス関連は車載、音声認識、携帯端末向け案件獲得見込む
- ・各種配信システム関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・AI認識率向上向けに鮮明化技術も期待

- ・デジカメ、放送・画像伝送機器向け中心にH.265、H.264/5案件獲得目指す
- ・ディスプレイ装置向け中心に固定長圧縮、デムラ圧縮などの伸び見込む
- ・医療機器向けJPEG XSも期待

- ・各種装置物の国内外での拡販見込む
- ・防災・防衛向け低遅延システムの拡販見込む
- ・車載関連や各種システム構築案件の獲得見込む
- ・映像鮮明化関連も期待

5-3-1 2026年3月期における課題

1. 東証上場維持基準適合への対応

(1) 2026年3月期が基準適合への最終期(改善期間)

- ① 現状の不適合項目は流通株式時価総額10億円
- ② 流通株式時価総額が10億円を超える株価は795円程度

(2) 基準適合への対応策

- ① 株価回復の基礎となる売上拡大、利益の安定計上策(具体策は次ページ)
- ② 関係各機関ととり得る施策を検討
- ③ 上記施策実施の可否、時期は、業績動向、財務状況、ステークホルダーへの影響などを総合的に検討して判断

5-3-2 2026年3月期における課題

2. 売上拡大

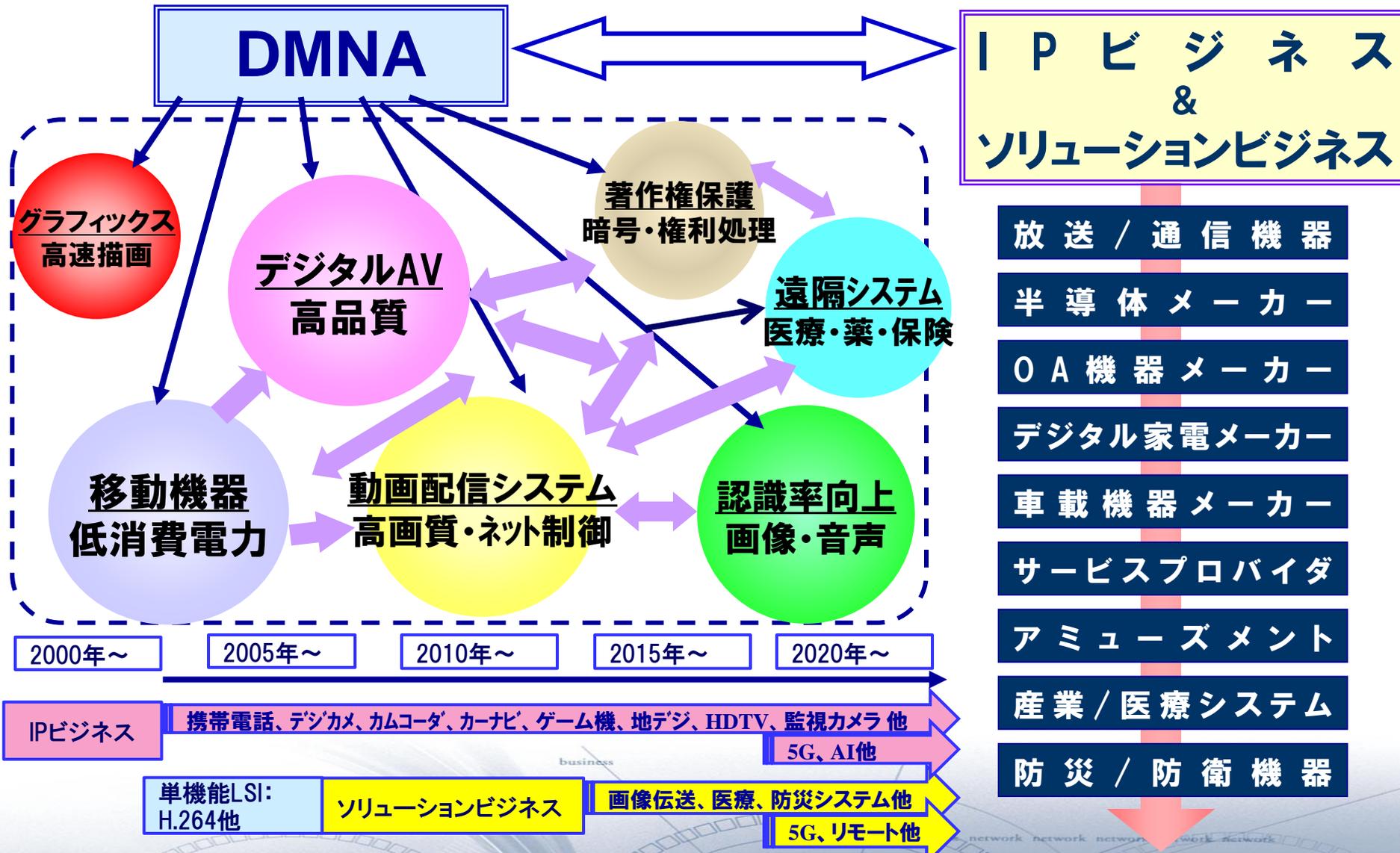
- (1) IPライセンス事業: H.265 & H.264 Multi / JPEG XS / H.266 / 固定長圧縮 / 認識率向上SW(音源分離、ズームボイス、映像鮮明化)案件の獲得
- (2) ソリューション事業: ・各種装置物の国内外での拡販
・開発案件獲得(防衛/車載/通信/放送)
・クラウド対応の新製品開発

3. 営業・開発の連携強化による海外ビジネス対応と案件数拡大

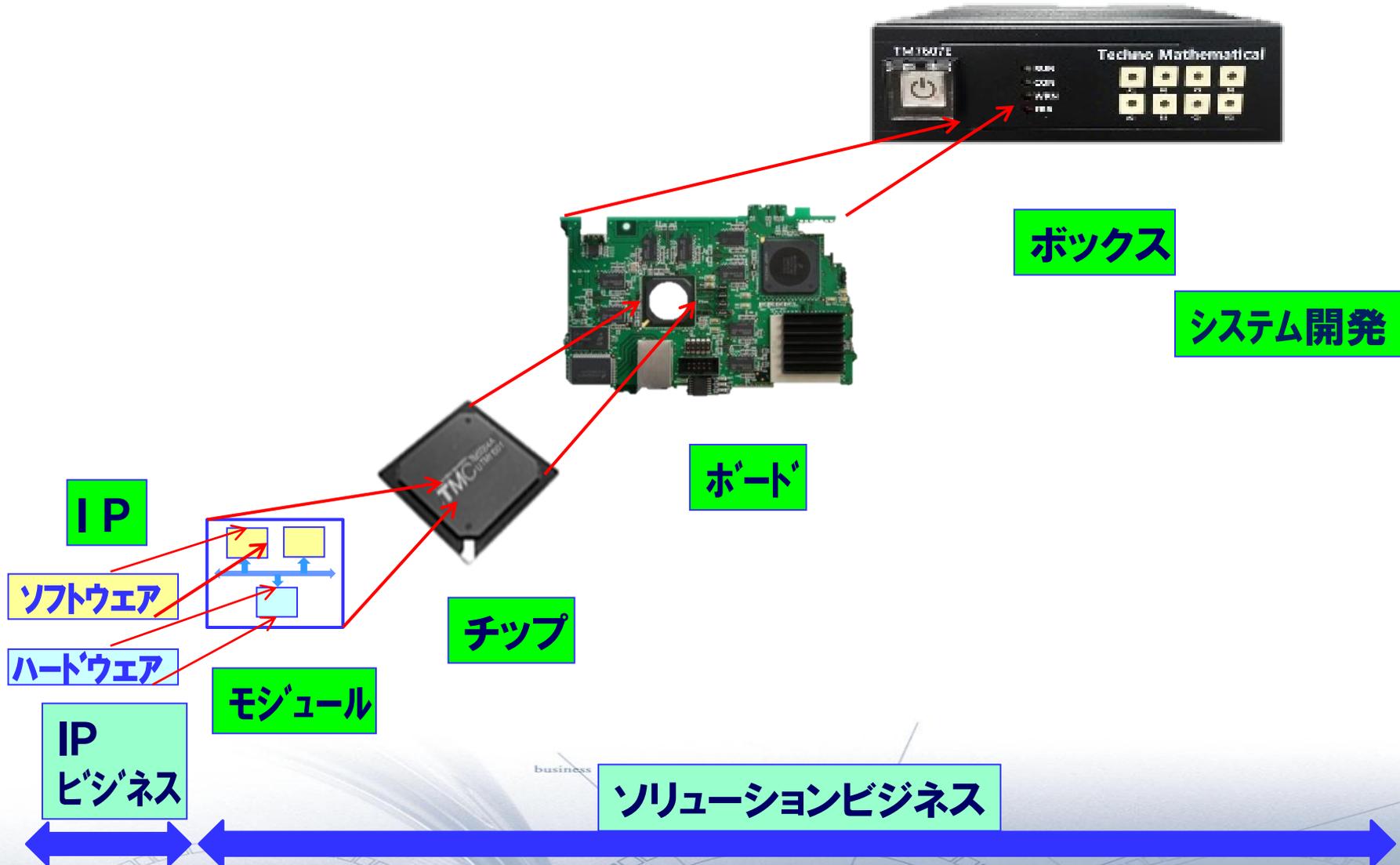
4. 顧客接触の量的・質的向上と価値の訴求強化

5. 既存技術の高機能化・高性能化・デコーダ汎用版化による差別化/優位性の維持・強化

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス



6-3-1 IPビジネス

〈ソフトウェアIP〉

Audio	Voice	Video/Still	TMC Original	ISP
OPUS Enc/Dec	Zoom Voice	H.265/HEVC Enc/Dec	DMNA V3 Enc/Dec	SDR ⇒ WDR/HDR
FLAC Enc/Dec	Wind Noise Suppressor	H.264 BP/MP/HP Enc/Dec	DMNA V2 Enc/Dec	Interlace ⇒ Progressive
HE-AAC Ver2 Enc/Dec	Noise Suppressor	MPEG4 Enc/Dec	DMNA V2-B Enc/Dec	FRC
AAC-SBR/LC Enc/Dec	Hands Free	MPEG2 Enc/Dec	DMNA V2-S Enc/Dec	Up/Down Scaler
WMA Dec	Variable Speed Playback	JPEG XS Enc/Dec	DMNA V2-C Enc/Dec	Super Resolution
MP3 Enc/Dec	AMR Enc/Dec	JPEG 2000 Enc/Dec	Visibility Enhancer	LossLess Enc/Dec
AC3 Enc/Dec	G.7XX Enc/Dec	JPEG Enc/Dec		Color Filter

System Development for **high compressibility, high quality, low power consumption, and low delay**

Trans CODEC	
GStreamer for Audio	
HEVC 16K/8K/4K Viewer	Mobile Encoder
8K⇒4K/2K Viewer	Remote Control with Video
Opening Viewer For Navigation	3-seg VLOW
Multi Viewer	Fullseg/1seg With Tuner Control
Media Player	Area 1-seg Broadcast

Software IP

Software

6-3-2 IPビジネス

<ハードウェアIP>

種類	製品			
動画 コーデック	H.264 HP 1080/30p I-Only Codec	H.264 HP 4K/60p Compact Codec	H.264 BP 1080/30p FPGA Codec	MPEG2 1080/60i FPGA Codec
	HEVC 8K/60p Codec	HEVC 1080/30p FPGA Codec	H.264&HEVC 4K/60p Codec	JPEG XS 4pixels/clock Enc/Dec
静止画 コーデック	JPEG 4pixels/clock Enc/Dec	JPEG 8pixels/clock Enc		
画処理 エンジン	Frame Rate Converter x 10	Fixed Length Compression 1/2 1/3 1/4 1/6	Lossless Near Lossless Enc/Dec	Visibility Enhancer FPGA
	Super Resolution 8K Scaler	WDR FPGA	HDR FPGA	
その他	AES FPGA			

6-3-3 ソリューションビジネス

〈LSI/ボード&装置・システム開発〉

Point-One

Multi Viewer (with PTZ)

Compact Codec (Non-DRAM)

Ultra Low Latency FHD

2020~

LSI

H.264 FHD/60p TM5184

Super Resolution TM5727

MPEG2-HD TM5084

ボード

HEVC/H264 Module Board

H.264 FHD/60p Module Board



LSI/ボード

低ビットレート/低遅延/低消費電力

HEVC 8K Realtime Enc

HEVC 4K YUV422 Dec

Wifi Sync Viewer

Low Latency FHD Tx/Rx Compact

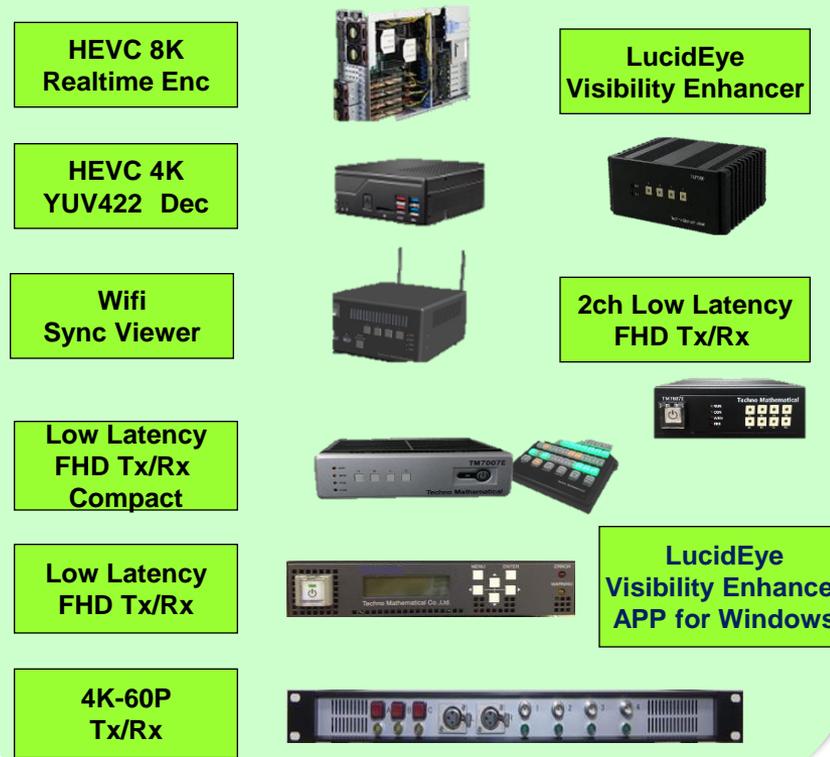
Low Latency FHD Tx/Rx

4K-60P Tx/Rx

LucidEye Visibility Enhancer

2ch Low Latency FHD Tx/Rx

LucidEye Visibility Enhancer APP for Windows



装置・システム開発

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp